

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年〇月末日

団体名 国際文化交流及び支援の会

代表者 山本 佳明

構成員 20人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

外国人に対する日本語の指導を主とする活動、併せて高校大学の入試に関する学習支援、及び市民社会における相互理解の支援の活動

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
4/1 (土、日) ～3/31	リブレ グループ室	18人 外国人	20	日本語指導 日本語検定受験指導
7/ (土、日) ～3/31	同上	3人 外国人	3	高校入学試験指導
10/ (土、日) ～3/31	同上	1人 外国人	1	同上
随時	同上	3人 外国人	3	エンジニアに対する日本語、 ビジネス日本語指導

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

少子高齢化の日本において 外国人の市民社会を目標に、
高学歴化・急増の外国人に対する
上級日本語の指導、及び高校・大学の進学指導に尽力努めた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

高校受験 総合合格、日本語検定試験 N-1 N-2 総合合格、大学受験 総合合格
エンジニアに対する指導も目標達成 評価は高いと判断された

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。